

高島市議会会派
夢ネット
たかしま

早川ひろのり 市議会レポート



臨時号

発行責任者:早川浩徳 〒520-1613 高島市今津町上弘部452 TEL:0740-22-0250 E-mail: hiro_0202aq@tulip.ocn.ne.jp
http://www.hayahiro.net facebook



ご挨拶

本日はご多用の中、「早川ひろのり市政報告会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。平素、皆様には大変お世話になり、改めて厚く御礼申し上げます。

<1年間を振り返って>



おかげさまでこの選挙カーの不敗神話を途切れさせることなく続けることが出来ました。

予想もしない大雪の中での選挙となりましたが、雪かき、車の運転、事務所作業、などさまざまなところで皆様に支えていただき、無事に当選させていただくことが出来ました。



全く新しい環境で戸惑うことも多かったのですが、さまざまな支えてくださる方、先輩議員さまのお陰でいろいろなことにチャレンジしてきました。

特に自分でも感慨深かったのは、「就学前援助」に関する意見書を可決し、予算化していただいたことです。

自分が提案し、実際に可決していただいたことがこういった形で予算化し、喜んで頂けるような結果になったことに改めて感じるものがありました。



●1人あたりの支給額

小学校	中学校
40,600円	47,400円

議会ではこんなことをやりました

一般質問

1年間の主な一般質問は以下の通り

1. 市役所庁舎予定地の跡地利用を含む、これからのまちづくりについて

将来のまちの発展につながる適切な利用。例えば、県の高島合同庁舎や高島警察署など行政施設を統合、観光・商業やビワイチのレンタサイクル等の機能を持つ観光発信拠点などが考えられるのではと質問しました。

さらに、駅周辺との一体化を踏まえた上で「近江今津駅周辺地域活性化検討委員会」の設置を提案しました。

2. 教員の働き方改革について

教員の長時間勤務の現状を改善すべく、まず市内小中学校での勤務実態を正確に把握するためのタイムカードの導入を進めるべきではとの質問をしました。

3. ICTの活用を含めた効果的な獣害対策について
獣害対策で十分な効果が出ていない中、全国的に研究が行われ始めているAIやドローンなど新しい技術を利用して、効果的な対策を行うことが出来ないかという提案をしました。

意見書等

昨年度は意見書2通。決議1通を提出。すべて可決されました。

●意見書

・骨髄ドナーに対する支援の充実についての意見書

ドナー（提供者）が検査や入院等で休業した場合の補償については国としての制度がない状態。制度整備を求めるもの。

・学校における働き方改革の実施のため、政府に対し、教員定数の抜本増を求める意見書

教職員の定数は昭和33年の法律で決まっており増やせない状況。これを適切に増やすことを求めるもの

●決議

・就学援助の入学準備のための適切な実施を求める決議

従来、生活に困られている方の子供さんに対する入学準備金は、入学後の7月に支給されてきました。これを入学前の3月に支給できないかというもの。可決後予算化、昨年度から3月支給となりました。

議会外ではこんなことをやりました

地域での活動

地域ではこの1年以下のような活動をしてきました。

- ・自治会役員（文化委員）
- ・消防団員（今津地域第一分団5班）
- ・愛隣こども園保護者会長（2017年度）
- ・今津東小学校PTA厚生委員長（2018年度）
- ・子育て支援ひろば「こどものにわ」実行委員など



政党活動

。党や連合滋賀では以下のような活動を行いました。

●政党

- ・各種勉強会などへの参加
- ・意見書等の提出

●連合滋賀

- ・駅頭などの啓発活動
- ・メーデー等への出席
- ・各種勉強会
- ・市への要望の提出への協力

